

院長のひとりごと2

テーマ「OJT」

おはようございます。

今日のテーマは **On THE JOB TRAINING** です。働きながら教えるということ。病院では医学的知識の上に、専門的な職務能力を身につけるために学校で習ったことをさらに推し進めた形で再学習する必要があります。新人教育に役立つし、それを教える指導者も常に勉強しなければならず、一石二鳥というわけです。以前にも書きましたが、「教えたことしか知らない」をさらに推し進めた形がOJTということ。当院は新患が多く、入院患者さんも多く、学ぶ機会が豊富です。患者さんの治療に携わりながら再学習するわけです。

先輩に指導力が伴わない場合、新人さんはすごく苦労しますから、皆が意欲的に勉強しなければ大変なことになります。OJTを調べると、「意図的・計画的・継続的」とありました。以前、毎年新人が来て、毎回同じことを教えるのは大変だからいやだという指導者がいました。何ということをするのでしょうか。自分だって昔は新人で誰かに教えてもらって一人前の顔ができてるのに。感謝という言葉が忘れてしまってますね。学校を卒業したばかりの新人が毎年必ず来ます。彼らを育て、育むのは人生の先輩なら当然の義務です。なかなか計画的には行きませんが意地でも絶対教えるんだという強い意志が必要です。

もう一つのOJTがあります。**OFF THE JOB TRAINING**です。いわゆるアフター5ですね。以前は飲みながら日本人的解決法で人間関係を作ったものですが、最近はそれも良くないかもしれないという考え方もあります。本当に落ち込んでしまった場合、皆で元気付けるのは反って逆効果で休養をとらせるといふ考え方はです。現代病ともいえるうつ病にさせないということです。でもやはり飲みながら元気付けるやり方のほうが私は相に会ってますが。

平成二四年四月十日 藤井茂

第2章。

